



平成21年10月30日(金)に「物部川水系河川整備計画【修正素案】」を公表し、物部川流域学識者会議、物部川流域住民の意見を聴く会、物部川関係市長の意見を聴く会、パブリックコメントを実施し、多くの方々から貴重なご意見をいただきました。

今回のニューズレターでは、主なご意見を紹介します。

### いただいたご意見をまとめてみました!!

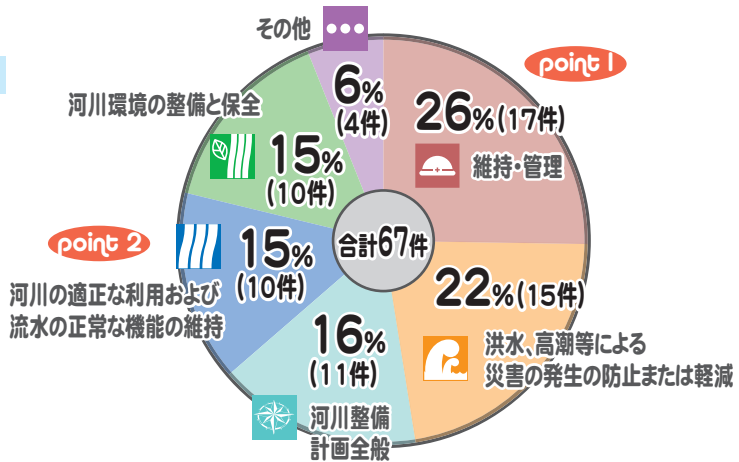
物部川水系河川整備計画【修正素案】について、合計67件のご意見をいただきました。

#### 意見の分類

いただきましたご意見は以下の6つに分類しました。それぞれのマークは、分類区分を示しています。

- 「河川整備計画全般」に対するご意見
- 「洪水、高潮等による災害の発生防止または軽減」に対するご意見
- 「河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持」に対するご意見
- 「河川環境の整備と保全」に対するご意見
- 「維持・管理」に対するご意見
- 「その他」に対するご意見

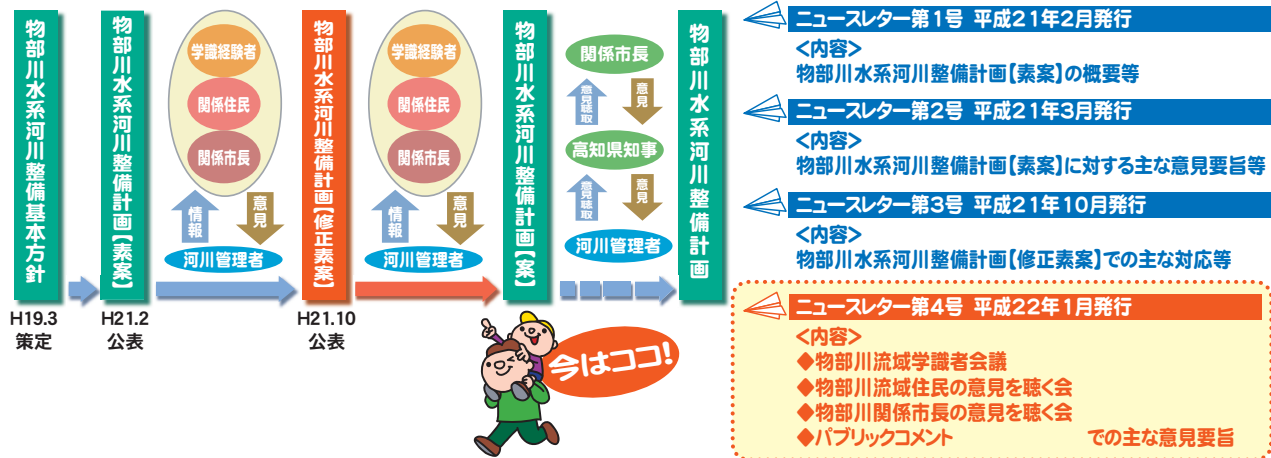
#### 意見分類の結果



point 1 「維持・管理」の中で河口閉塞や上流からの土砂供給等についてのご意見が多くあがっていました。

point 2 「河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持」の中で、河川の流量に関するご意見が多くあがっていました。

### 物部川水系河川整備計画策定の流れとこれからの進め方



- ニューズレター第1号 平成21年2月発行  
＜内容＞物部川水系河川整備計画【素案】の概要等
- ニューズレター第2号 平成21年3月発行  
＜内容＞物部川水系河川整備計画【素案】に対する主な意見要旨等
- ニューズレター第3号 平成21年10月発行  
＜内容＞物部川水系河川整備計画【修正素案】での主な対応等
- ニューズレター第4号 平成22年1月発行  
＜内容＞物部川流域学識者会議、物部川流域住民の意見を聴く会、物部川関係市長の意見を聴く会、パブリックコメントでの主な意見要旨

物部川水系河川整備計画【修正素案】や配布資料等は、ホームページで見ることができます

### このような方法でご意見をうかがいました

第2回 物部川流域学識者会議

【開催日時】平成21年10月30日(金) 10:00~12:00  
【開催場所】南国市立スポーツセンター 【出席学識者】7名

第2回 物部川流域住民の意見を聴く会

■南国市会場  
【開催日時】平成21年11月6日(金) 19:00~20:25 【開催会場】南国市立日章福祉交流センター  
■香美市会場  
【開催日時】平成21年11月8日(日) 10:00~11:40 【開催会場】プラザ八王子  
■香南市会場  
【開催日時】平成21年11月8日(日) 15:00~15:50 【開催会場】高知県立青少年センター

第2回 物部川関係市長の意見を聴く会

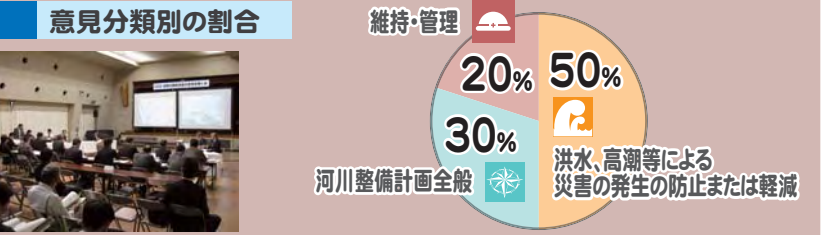
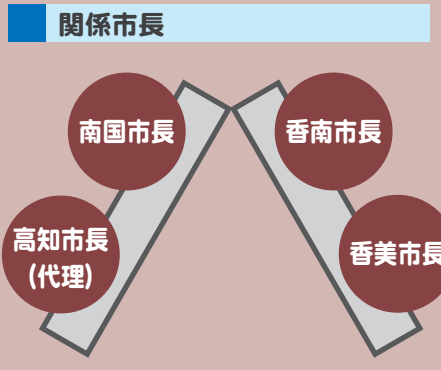
【開催日時】平成21年11月10日(火) 14:00~16:00  
【開催場所】高知県立青少年センター  
【出席者】高知市長(代理)、南国市長、香南市長、香美市長

第2回 パブリックコメント

物部川水系河川整備計画【修正素案】についてのご意見・ご要望を募集しました。  
【募集期間】平成21年10月29日(木)~11月27日(金)

### 第2回 物部川関係市長の意見を聴く会

関係市長から様々なご意見をお聴きするため、「物部川関係市長の意見を聴く会」を開催しました。



- #### 関係市長からのご意見
- 物部川で計画的に整備を進めるためには、全体で30年の計画は必要であるが、その中で前期、中期、後期の各10年単位の計画があっても良い。
  - 洪水によるはん濫被害は、高知市民も危機感をもっているが、河川整備計画の30年という期間は非常に長いので、事業の早期実施をお願いしたい。
  - 物部川にはまだ無堤区間があり、南海地震による津波被害等が心配されるため、早期の改修をお願いしたい。
  - 河川整備計画が絵に描いたもちにならないのか危惧している。計画に沿った整備の実現をお願いしたい。
  - 深淵の床止め付近の掘削を早期に実施して欲しいが、飲料水の取水に影響するため、床止めの補強を行って欲しい。
  - 永瀬ダムの堆砂が計画の9割になっており、その改善が急がれるが、どのような対策を行うのか。

- #### 【ホームページからダウンロードできる資料】
- ◆物部川水系河川整備計画【修正素案】
  - ◆過去の河川整備計画関連資料(【素案】等の資料)
  - ◆各会議の配布資料
  - ◆各会議の議事録

<http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/river/monobeseibikeikaku/index.html>

国土交通省四国地方整備局 高知河川国道事務所 物部川水系河川整備計画担当 高知県 土木部河川課

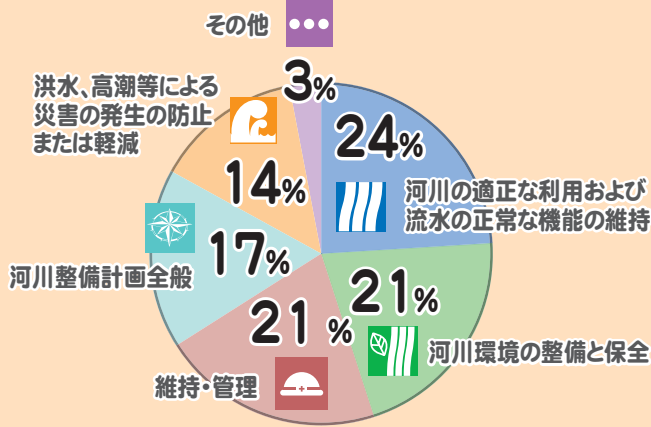
〒780-8023 高知市大泉寺町96番地7  
TEL(088)833-0111(代) FAX(088)833-5357  
URL <http://www.skr.mlit.go.jp/kochi/river/monobeseibikeikaku/index.html>

〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号  
TEL(088)823-9838 FAX(088)823-9129  
URL <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/170901/>

# 第2回 物部川流域 学識者会議

流域の現状や課題等を踏まえ、「治水」、「利水」、「環境」等、さまざまな分野の物部川流域に関して学識経験を有する方で構成しています。

## 意見分類別の割合



※:今回ご欠席の委員

**学識者**  
委員名  
専門分野

- ※ 菅原克夫委員 砂防学
- ※ 大年邦雄議長 河川・防災工学
- ※ 重山陽一郎委員 景観デザイン
- 岡田将治委員 河川・防災工学
- 高橋勇夫委員 河川生物
- ※ 一色健司委員 水質化学
- 藤本眞事委員 歴史文化・地理
- 石川妙子委員 水生生物
- 松本伸介委員 農業施設工学
- 石川慎吾委員 植物生態学
- ※ 渡邊法美委員 環境マネジメント

## 学識者からのご意見

### 河川整備計画全般

- ・現在、上流の森林は杉林(常緑樹)となり、地下水を365日吸い上げている。早く伐採を進め、落葉による土壌形成により水源涵養効果の高い落葉樹の森林に替えていくことが水源を確保する上で重要である。
- ・河川整備に伴う工事等、ハード面の年次計画の優先順位には触れられているが、流量や環境について優先順位が示されていない。ハード面の整備と並行して、流域の人々が融通を利かせて流量を確保するようなことを考える必要がある。

### 維持・管理

- ・ダムにより、年間を通じて一定の水量が確保される安心感はあるが、上流からの土砂供給が減り、海岸の砂浜が減少した。
- ・永瀬ダムの堆砂について、ダム上流での対策の説明はあったが、下流はどのようにするのか。明らかに土砂は減っているが、対応策はモニタリングしか示されていない。モニタリングという悠長なことではいけないのではないか。
- ・河口閉塞は、水質や魚類等にも影響するものであり、維持流量の1トン<sup>\*</sup>で河口閉塞がどの程度改善するのか、モニタリング等の実施を含め、河口閉塞と維持流量の関係や効果等について評価して欲しい。
- ・最近、物部川清流保全の検討会も立ち上がった。その中には官民が連携する作業部会もあり、そこの連携等の文言も濁水協議会と並列で入れることで、様々なアクションに弾みがつくのではないか。

### 洪水、高潮等による災害の発生防止または軽減

- ・高水敷に土砂が堆積して樹林化し、さらに土砂が堆積して複断面化が進むことが繰り返され、土砂がどんどん補捉されて貯まっていくという悪循環により樹林化が進み、河川らしい環境が失われている。

### 河川環境の整備と保全

- ・河川の工事に際しては、水際環境の保全をきちんと欲したい。
- ・「良好な水際環境」や「湧水・伏流水によるフンド・たまり」とは、どういうイメージを考えているのか不明であり、模式図を追加して欲しい。

### 河川の適正な利用および流水の正常な機能の維持

- ・10年間水が無い期間が続くとアユ等の資源は壊滅的な打撃を受け、回復不能となるため、流量は10年に1回程度は見直して欲しい。
- ・整備計画に位置づけられた維持流量の1トン<sup>\*</sup>は、辛うじて水中の生物が生きていくことができる、ぎりぎりの流量である。
- ・アユ等の遡上期の2月～3月については、何とか早く1.86トン<sup>\*</sup>まで引き上げられるように流域で工夫して欲しい。
- ・利水については、難しい問題もあり、競合する部分もある。相互理解を促進するためにも、根拠やプロセスを明示することが望ましい。
- ・正常流量について「概ね17トン<sup>\*</sup>」のようなあいまいな文書表現は避けるべきである。

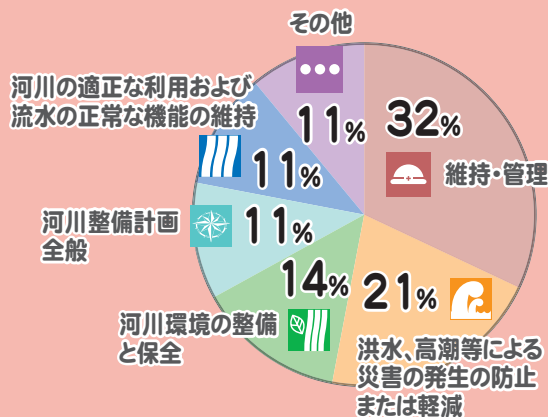


※):皆様のご発言にある「1トン」等の表現は、河川の流量を表すものです。(例) 1トン = 1m<sup>3</sup>/s

# 第2回 物部川流域 住民の意見を聴く会

## 意見分類別の割合

※パブリックコメントも含む



関係住民の多くの方々から様々なご意見をお聴きするため、流域内の3箇所で開催しました。

## 流域住民からのご意見



Aさん

- ・子どもたちが川に親しめ、遊べるような川をつくることを考えると良い。
- ・下水の流入について、最終的には国の管理する河川に流入しており、国と県と市とがそれらの情報について共有しておいて欲しい。



Bさん

- ・国内の野菜の生産が増え、南国市域でもネギの生産が増えている。ネギ収穫の最終期は3月～4月であり、その生育期となる冬に水が必要となる。根本である水が無くなるとどうなるのか心配である。



Cさん

- ・1トン<sup>\*</sup>の水を下流へ流す場合、取水権量にも影響すると思う。香長平野では休耕田も増えており、難しいとは思いますが、正常な流量を確保するために既得水利権の見直しの面からも協力を得ることが必要である。
- ・統合堰での流量について、1トン<sup>\*</sup>とか2.9トン等の数値を本文に記載した方が分かりやすい。

※イラストはイメージです。



Dさん

- ・深淵の床止めがなくなると上流側の河床が低下してしまうのではないかと。床止めをそのまま維持するのか撤去するのか、あるいは治水上必要なものなのか等が不明である。必要性がある場合には、それを明記した方が良い。
- ・水質保全対策は、濁水対策が主になっているが、し尿処理場からしみ出している汚水が流入する近辺で水質が悪化している。流入水質についても対策を位置づけられないか。



Eさん

- ・河川整備計画の30年は長いので、10年程度での見直しをして欲しい。

## パブリックコメントでのご意見

平成21年10月29日(木)～11月27日(金)

- ・年を追うごとに流量が少なくなっている。
- ・山が荒れてきている。
- ・山、川、海の自然の流れによる流量豊かな物部川を取り戻したい。
- ・川の中の雑木は、1年に1回は伐採すべきである。
- ・親水公園やグラウンド等に類するものは必要ない。
- ・堤防補強と堤防美化、市民の健康づくり、防災教育等の観点から、物部川大橋から上岡山までの堤防に盛土と桜の植樹を進め、桜堤公園を延長して欲しい。
- ・昔の河原が戻り、子供が思いきり遊べる河原にして欲しい。